

.....

館園名 : 熊本県環境センター

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1993年08月20日

所在地

・〒867-0055 熊本県水俣市明神町55番1号

公式サイト

・<http://www.kumamoto-eco.jp>

設立主体

・熊本県

運営主体

・財団法人 くまもと緑の財団

設立目的

・地域や地球に起こっている様々な環境問題や自然との共生・調和のあり方について学び考える施設です。

展示概要

・ゴミ・リサイクル、節水、家庭排水、河川の汚染、下水処理、森の働き、酸性雨、省エネルギー、希少動植物等暮らしと環境の関わりが学べる一軒の家と見たてたエコロジーハウスがある。

活動概要

・エコセミナー（県内の小学5年生を対象とした環境学習）事業。
環境教育指導者派遣事業。
環境セミナー。
動く環境教室。

延床面積

・1,655 m²

全職員数（常勤職員）

・12名（2004年12月現在）（うち5名は県庁からの派遣職員）

年間運営費

・110,000,000円（2003年度）

総資料点数

・約10,000点（2004年12月現在）

施設その他

・環境シアター、情報プラザ、エコロジーハウス。

2. ボランティア活動 名称：エコロジスト・リーダー養成講座

活動目的・経緯

- ・平成 11 年度から環境にやさしい取り組みをする県民を支援するリーダー的人材を育成することを目的に「エコロジスト・リーダー養成講座」を開催しているが、現在、これらのリーダーが活動できる場の提供や支援のあり方を検討している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 102 名（16 年 8 月現在） 受講人数
- ・ 男性：48 名、女性：54 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳 不明

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・現在、環境センターが実施するイベントに協力を依頼している程度であり、今後の活動内容を検討しているところです。他の施設の状況をお知らせ願えれば幸いです。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

.....

館園名 : 熊本県立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1976年03月04日

所在地

- ・ 〒860-0008 熊本県熊本市二の丸2

公式サイト

- ・ <http://www.pref.kumamoto.jp/institution/museum/index.html>.

設立主体

- ・ 熊本県

運営主体

- ・ 県直営、熊本県教育委員会

設立目的

- ・ 美術館は、美術品その他美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示し、並びに美術品等に関する専門的な調査研究を行うとともに、県民に関する創作、研究等を促進するために必要な事業を行うことにより、県民の美術に関する知識及び教養の向上に資することを目的とする。

展示概要

- ・ 企画展年6回 常設展年4回 浜田知明版画室 装飾古墳室 その他作品発表の貸し会場として使用。

活動概要（主に学芸課に関すること）

- ・ 美術に関する専門的な調査研究に関すること、調査資料の分類・保管に関すること。
- ・ 美術品の収集に関すること、美術品等の調査及び報告に関すること。
- ・ 収蔵品の整理・保管・貸出等に関すること。
- ・ 展覧会事業・展覧会の企画調整・施設利用許可に関すること。
- ・ 普及活動に関すること。
- ・ 収蔵庫及び展示室の維持点検等に関すること。
- ・ 図書の整備に関すること。
- ・ 研究紀要集に関すること。

延床面積

- ・ 本館 7,930.13 m² 分館 5,084.62 m²

全職員数

- ・ 常勤職員14名、非常勤職員6名

年間運営費

- ・ 約 370,000,000 円

総資料点数

- ・ 日本 古美術 1,739 点（絵画、書蹟、彫刻、工芸など）。
- ・ 日本 近現代美術 2,567 点（油彩、版画、デッサン、彫塑、工芸、日本画、水彩など）。
- ・ 東洋 美術 164 点（絵画、書蹟、彫刻、工芸）。
- ・ 西洋 美術 630 点（油彩、版画、デッサン、彫塑、水彩）。

その他

・

2. ボランティア活動 名称：熊本県立美術館ボランティア会

活動目的・経緯

- ・ 1992年9月、友の会会員により活動開始。9月実施の「手塚治虫展」の手伝いから出発。友の会外国旅行仲間の談義からボランティア発足。図書整理の手伝いが始まる。
- ・ 翌1993年4月熊本県立美術館ボランティア会スタート。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 67名（2004年）
- ・ 男性：8名、女性：59名（2004年）
- ・ 平均年齢58.5歳：男性62.4歳、女性57.9歳（2004年、ただし未記入者が数名有り。未記入者分を分子年齢合計数と分母人数とから除いて計算しているので確かな数値ではない。）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課教育普及担当 担当人数：常勤1名

活動の種類

- ・ ①発送作業、②図書グループ、③資料グループ、④子ども美術館グループ、⑤ポスター掲示、⑥日本美術グループ、⑦工芸グループ、⑧西洋・近現代美術グループ。

活動その他

- ・ ボランティア会とは別途に、1995年に美術教育に関心のある教師が集まって発足したボランティア団体「わーくしょっぷの会」が、子ども美術講座への協力、学校への出張美術館を実施している。

関連する出版物

- ・ 会報「ViVi」を年4回発行した。

関連するHP

- ・ 熊本県立美術館ホームページに募集に関する記事がある。

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 熊本城周辺施設ボランティアとの交流、合同研修会、熊本城周辺の意識調査の実施などを実施した。
- ・ 熊本県の「パートナーシップ・モデル事業」を受けて取り組んだが、連携の一步となった。

活動個別シート 活動名：①発送作業

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 98名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 企画展等の広報用のチラシやポスターを、それぞれ会期1ヶ月以上前に、発送する。

◇活動日

- ・ 年間9回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。
- ・ 作業グループをローテーションで実施する。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360名参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②図書グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 242 名（2004 年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 美術文献及び美術図書の整理。
- ・ 合計 1453 冊について整理票の記入及び押印を行い、データ化も 764 冊について行った。

◇活動日

- ・ 毎週火曜日を定例の日とする。年間 7 8 回活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の 1 人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月 1 回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18 歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に 1 回程度、発表者 2 名程度で続けている。年間 12 回のべ 137 名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間 18 回のべ 360 人参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人 300 円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費 1000 円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③資料グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 189名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 新聞の美術関連記事等の整理と郷土作家資料の収集と整理。

◇活動日

- ・ 新聞の切り抜き作業を各自随時行い、毎月第4火曜日の午後に集まった切り抜きを整理し、スクラップを行った。年間24回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360名参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：④子ども美術館グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 200名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 土曜日に、年間11回実施された土曜子ども美術館と、年間8回実施された会員制のJACK（ジュニア・アート。クラブくまもと）のスタッフの一員としての活動した。

◇活動日

- ・ 土曜日。年間19回。夏休み特別展に29回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360名参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑤ポスター掲示

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 82名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 全国から送付されてくるポスター・チラシの整理を行い、本館のポスターファイルの入れ替えと分館掲示板のポスターの張り替えを行った。

◇活動日

- ・ 毎月第一月曜日。年間18回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360名参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑥日本美術グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 390名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 日本美術について学芸員が講義。主に絵巻を読む、画賛や漢詩を読む、「芥子園畫伝」を読む研修を行った。絵巻は「石山寺縁起絵巻」を中心に扱う。
- ・ 常設展のギャラリートツアーでの解説を行う。

◇活動日

- ・ 毎月2回。年間22回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360人参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

活動個別シート 活動名：⑦工芸グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 54名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 常設展の工芸についての解説に向けた研修とギャラリートツアーを実施する。

◇活動日

- ・ 毎月1回、年間9回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360名参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑧西洋・近現代美術グループ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1993年

◇活動人数

- ・ 143名（2004年）（※のべ人数）

◇活動内容

- ・ 主に企画展の解説に向けた学芸員の指導を受けての研修と自主学習会を実施。
- ・ ギャラリーツアーでの解説を行う。

◇活動日

- ・ 毎月2回。年間14回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティア組織により運営。館の担当者が、事務局の1人として参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 世話人会（事務局及び各グループ世話人）を、月1回開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：18歳以上。受付等に募集の表示をし、随時受付。定年制、任期制なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 学芸員により、解説に向けて基本学習を実施。
- ・ 常設展の解説のため、収蔵品について自主的なコレクション学習会を行っている。月に1回程度、発表者2名程度で続けている。年間12回のべ137名参加した。
- ・ ボランティアの基礎的な全体研修として日本美術は絵巻及び賛や画題のある絵画、工芸は収蔵品、西洋美術はキリスト教美術を中心に自主勉強会を実施した（基礎研修）。年間18回のべ360名参加した。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア活動保険（一人300円）に加入。
- ・ 保険や活動費など、予算等が問題。会費1000円では活動が難しくなっている。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 熊本市現代美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2002 年 10 月 12 日

所在地

・ 〒860 -0845 熊本県熊本市上通町 2-3

公式サイト

・ <http://www.camk.or.jp>

設立主体

・ 熊本市

運営主体

・ (財) 熊本市美術文化振興財団

設立目的

・ 現代の世界と日本の美術を通し、人間のありようを検証する美術館、「衣食住」の視点から芸術表現を考える美術館、熊本、そして九州に根を下ろして表現活動を続ける芸術家を応援する美術館を目指す。

展示概要

・ 21 世紀を象徴するであろう、同時代の「世界」「日本」「熊本」の現代美術を収集、保管し、展示紹介する。

活動概要

・ 常設展示のほか、テーマにそった企画展を行う。教育普及事業とあわせて出版、イベントなどを行う。

・ 井出宣通記念ギャラリー、ホームギャラリー（図書室）、アートロフト（多目的ホール）、メディアギャラリー、キッズサロン、キッズファクトリー（子供用アトリエ）、会議研修室、ティーラウンジ、ショップなど。

延床面積

・ 6,415.91 m²

全職員数（常勤職員）

・ 19 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 300,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：CAMKEES（キャンキーズ）

活動目的・経緯

- ・熊本市現代美術館の活動を支える。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）*登録人数です。

- ・ 約 300 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

*男女、年齢に関するデータはとっていない。

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称： 学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ホームギャラリーでの書籍の整理。
- ・ キッズサロンの書籍やおもちゃの管理等。
- ・ メディアギャラリーのご案内。
- ・ 発送や資料整理など。

その他、さまざまなボランティアを設置予定。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 熊本県内の華人にボランティアで花を活けていただいている。
- ・ ピアノボランティアのみなさんに、毎晩7時より、30分間のピアノ演奏をして頂いている。

活動個別シート① 活動名：通訳、点訳、アートスタッフ、ホームステイ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数 ＊登録人数です

- ・ 208 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・通訳：海外からの作家やゲストに対し、通訳を行う。
- ・点訳：印刷物などの点訳。
- ・アートスタッフ：デザインの仕事の経験のある人。美術館の印刷物のレイアウトやカットを制作。
- ・ホームステイ：海外のアーティストの、ホームステイの受け入れ。

◇活動日

- ・必要に応じて。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・予算なし、備品、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・学芸課から、登録者に直接連絡。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・「市政だより」で広報、選考なし、随時受付、人数制限なし。チラシにて募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・なし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・活動頻度が低く、今後見直しが必要かと考えている。

◇その他

- ・

活動個別シート② 活動名：ホームギャラリースタッフによる活動

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 300 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

- ・ 毎日（休館日をのぞく）

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算なし、備品、ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 週 1 回 2 時間。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア通信作成（CAMKEES スタッフによる）
毎月一回の定例会、年一回の総会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 「市政だより」で広報、選考なし、随時受付、人数制限なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 活動開始時 1 回、毎月行う定例会の後、学芸員によるギャラリーツアー or 現代美術のレクチャー。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入（熊本市の制度を利用）

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ ボランティアコーディネーターを必要とする声が職員側、ボランティア側双方から出ている。ボランティアを楽しんで頂くための工夫を皆で考えているところ。予算がつけば、講師を招いた特別講座なども行いたい。

◇その他

・

.....

館園名 : 熊本市動植物園

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1929年 07月 26日

所在地

- ・ 〒862-0911 熊本県熊本市健軍5丁目14番2号

公式サイト

- ・ <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/kanko/zoo.html>

設立主体

- ・ 熊本市

運営主体

- ・ 熊本市

設立目的

・ 市民の憩いの場とともに、楽しみながら生命の尊さや自然環境の大切さを学ぶことのできる学習の場としての役割を果たす。

展示概要

- ・ 「動物」: 117種、1014点（2004年11月30日現在）。
- ・ 「植物」: 低木 約55,000本、高木 約5,100本。
- ・ 「花の休憩所」: 284種、2,200点。

活動概要

- ・ 動植物の展示。
- ・ 希少動植物の種の保存。
- ・ サマースクール、観察会、講習会、展示会などの開催。

延床面積

- ・ 244,993 m²(敷地面積) 4,300 m²(花壇) 27,060 m²(芝生) 200 m²(バラ園) 406 m²(生垣) 441 m²(地被類)

全職員数（常勤職員）

- ・ 52名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 926,743,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 点（ 年 月現在）

施設その他

- ・ 時代のニーズにマッチした魅力ある動植物園に向けて、再編整備に取り組んでいる。

2. ボランティア活動 名称：①動植物案内ボランティア
②デジタルボランティア ③ボランティアバンド

活動目的・経緯

- ・ ①1991年から活動。展示動植物の案内やステージにて動植物クイズを実施。
- ・ ②動植物園ホームページの作成、情報化技術の提供。
- ・ ③ステージでの音楽活動(来園者向け)。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 52名（2004年12月現在）
- ・ 男性：33名、女性：19名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：飼育係、管理係
- ・ 担当人数：常勤職員 3名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示動植物の案内。
- ・ 動植物クイズ。
- ・ ホームページ作成。
- ・ ステージにて音楽演奏。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①動植物案内ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・1991年

◇活動人数

- ・17名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・展示動植物のガイド。
- ・動植物クイズの実施。

◇活動日

- ・主に土曜、日曜(不定期)。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・特になし

◇運営（シフト 等）

- ・特に決まったものはない。メンバーの任意。

◇交流（情報、組織 等）

- ・年数回打ち合わせを行う。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・不定期

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・情報誌の配布などの情報提供を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・特に実施していない

◇課題と展望

- ・新規ボランティアの養成とフォローアップ研修。
- ・活動しやすい環境をつくる。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②デジタルボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・2003年

◇活動人数

- ・5名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・動植物園ホームページの作成。
- ・情報化技術の提供。

◇活動日

- ・不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・なし

◇運営（シフト 等）

- ・園内にホームページ運営委員会を設置し、ボランティアにも参加を求めている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・運営委員会で職員及びボランティア間の交流の場を作っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・なし

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・なし

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・なし

◇評価

- ・実施していない

◇課題と展望

- ・交通費など実費支給するなどボランティアの待遇改善が求められる。

◇その他

- ・ホームページはテスト公開中にもかかわらず、50,000件のアクセスがあり、来年春の正式公開後のアクセス増と、来園者増は期待できる。

活動個別シート 活動名：③ボランティアバンド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 約 30 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ ステージでの音楽活動。

◇活動日

- ・ 不定期。主に土、日、祝日。
- ・ 月に 1～2 回程度。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 演奏に使用するアンプ、スピーカーなどの器材はボランティア所有。
- ・ ボランティア活動費はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 器材の設置、準備、片付け、演奏の順番など、全てボランティアが自主的に行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ グループ間の交流は自主的に行われている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ なし

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ なし

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 食糧費で対応。園主催のイベント開催時のみ飲み物の支給を実施。

◇評価

- ・ 実施していない

◇課題と展望

- ・ 音楽の演奏内容によっては、来園者に喜んでもらえない場合もある。手品やクイズ、ダンスなどバラエティに富んだ活動が望まれる。
- ・ 交通費など実費支給するなどの待遇改善が求められる。

◇その他

- ・ 出演者の家族、関係者の来園が増加している。

.....

館園名 : 熊本市立熊本博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1978年04月01日

所在地

- ・ 〒860-0007 熊本県熊本市古京町3-2

公式サイト

- ・ <http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/haku/>

設立主体

- ・ 熊本市

運営主体

- ・ 熊本市（教育委員会）

設立目的

- ・ 郷土に立脚し、また青少年に夢を与える施設。

展示概要

- ・ 自然科学部門 82,000 余点、人文科学部門 33,000 余点、理工科学部門 300 余点、計 115,000 点を収蔵。
- ・ 自然科学展示室：熊本のなりたち、熊本の動植物。
- ・ 理工科学展示室：エネルギーのテーマのもと、太陽観測装置から原子力発電・太陽熱発電まで、ビーチクラフト機・蒸気機関車。
- ・ 人文科学展示室：熊本県内の遺跡・出土品や文化財などの考古資料、加藤・細川・相良藩および神風連・西南の役資料などの歴史資料、生産・社会生活・信仰・年中行事などの民俗資料。

活動概要

- ・ 肥後朝顔展などの定例展示会、年1回の特別展、博物館教室・講座、自然観察会、友の会活動、解説ボランティア講座を実施。

延床面積

- ・ 6,108 m²

全職員数

- ・ 16名（他に嘱託3名、臨時職員3名）

年間運営費

- ・ 257,061千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 約120,000点（整理後は、半分程度の点数になる予定）

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：熊本博物館ボランティアの会「博萌会」

活動目的・経緯

- ・ 1991年10月、熊本博物館創立の基本理念と、その総合博物館としての意義を理解し、案内ボランティア活動を通して、その事業の発展と活用拡大に貢献するとともに、会員相互の親睦融和と教養充実を図ることを目的として、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 61名（2004年）
- ・ 男性：28名、女性：33名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：熊本博物館 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①特別展の受付、②展示解説、③企画補助。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く。入館者が少ない時期は、活動しないこともある）。
- ・ ボランティア組織により運営。
- ・ 館長が相談役、職員が顧問として委嘱されている。
- ・ 予約団体の案内や、教育普及事業の運営補助は、博物館の依頼による。
- ・ 運営委員会・全体会を開催。
- ・ 「会だより」を発行。
- ・ 館が、不定期に、市民を対象に養成講座生を募集（週1回、2ヶ月）。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 月例会後に、ボランティア相互で研修を実施。
- ・ 年に数回館外研修を実施。
- ・ 他の施設のボランティアも兼ねている活動者の存在や、年に数回の館外研修などが、案内活動の内容を向上させている。
- ・ 資料整理補助などに新たにに取り組む予定。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 熊本県立美術館ボランティア、熊本市観光ボランティアと交流を開始したところである。

活動個別シート ①特別展の受付等

◇活動開始年

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 74名(2004年)

◇活動内容

- ・ 入場者数カウント、展示物の監視、簡単な解説、グッズ販売を行う。

◇活動日

- ・ 特別展開催日(ただし、館から依頼があり、博萌会側が受けられると判断した時)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ グッズ販売による収益。
- ・ ボランティア控室。

◇運営(シフト 等)

- ・ 常時2名以上(シフトについては博萌会側で決定)。
- ・ ボランティアの月例会で報告後、ボランティア控室掲示板でシフト調整。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 募集は博物館がボランティア講座受講生という形で随時募集。
- ・ 週1回2ヶ月間の講座修了生にボランティアの会への加入を勧めている。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 入会前に博物館主催のボランティア養成講座を受講(約12回)
- ・ 月例会後に研修会(約1時間)を行う。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険は熊本市のボランティア活動保険加入により自己負担なし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動者が固定化してきているのが問題。

◇その他

- ・

活動個別シート ②展示解説

◇活動開始年

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 74名(2004年)

◇活動内容

- ・ 館内の展示解説。

◇活動日

- ・ 依頼のあった日、およびボランティアの都合の良い日(月2回以上)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ ボランティア控室。

◇運営(シフト等)

- ・ 役員会、および月例会(第3水曜日)において決定。
- ・ シフトは原則として、掲示板に各自の都合の良い日を書き込むことで調整。

◇交流(情報、組織等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ 募集は博物館がボランティア講座受講生という形で随時募集。
- ・ 週1回2ヶ月間の講座修了生にボランティアの会への加入を勧めている。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 入会前に博物館主催のボランティア養成講座を受講(約12回)
- ・ 月例会後に研修会(約1時間)を行う。

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 保険は熊本市のボランティア活動保険加入により自己負担なし。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動者が固定化してきているのが問題。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 東陽村石匠館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1994年07月23日

所在地

- ・ 〒869-4302 熊本県八代郡東陽村大字北 98-2

公式サイト

- ・ <http://>

設立主体

- ・ 東陽村
- ・ **運営主体**
- ・ 東陽村

設立目的

- ・ 東陽村は種山石工の発祥の地である。その種山石工がかつて架設した石造アーチ橋を中心に全国の石橋と石工を紹介する資料館。

展示概要

- ・ 九州の石造アーチ橋を主に全国・世界の石造アーチ橋の写真。
- ・ 石造アーチ橋の工事をわかり易くする大型支保工の模型。
- ・ 採石場の模型・石材運搬体験コーナー・東陽村紹介レーザーディスク。

活動概要

- ・ 石造アーチ橋や石工に関する情報の収集・提供。
- ・ 入館者 個人・団体を問わず館長が直接案内解説。

延床面積

- ・ 831.47 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 4名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 円（2003年度）

総資料点数

- ・ 点（ 年 月現在）

施設その他

- ・ 開館後10年経過し展示内容の一部リニューアルを試みた。
- ・ 映像機器の老朽化や建物の不備（館長室なし。収納庫なし）を市町村合併（2005年08月）後どう解決していくか。

2. ボランティア活動 名称：特になし

活動目的・経緯

- ・ 石造アーチ橋および石工の活躍ぶりについて。
情報の収集・提供。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 1名（2004年12月現在）
- ・ 男性：1名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性69歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：館長
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（非常勤） 1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。
- ・ 村広報紙に執筆。
- ・ 要請があった場合の講演。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ なし。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 展示物の解説。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日。個人・団体どちらも。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 常に一人で。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 特設せず。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ しない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 休日を充てる。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 自前 自己負担。

◇評価

- ・ 自己評価。

◇課題と展望

- ・ 自分自身の体力との勝負。

◇その他

- ・ なし。